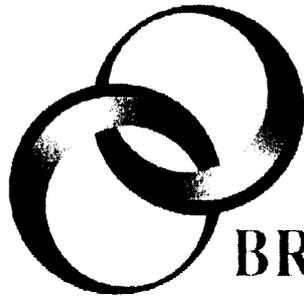


プレイブ サークル “BRAVE CIRCLE”大腸がん撲滅キャンペーンについて

～大腸がん検診受診率50%以上に向けた民間・行政連携による啓発活動～



BRAVE CIRCLE

大腸がん撲滅キャンペーン

平成21年5月22日

プレイブサークル運営委員会 事務局 山岡正雄

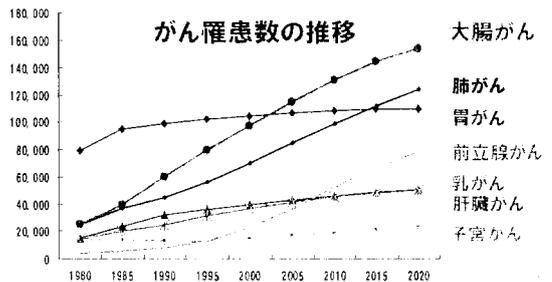
キャンペーン開始の背景



【増えている大腸がん】

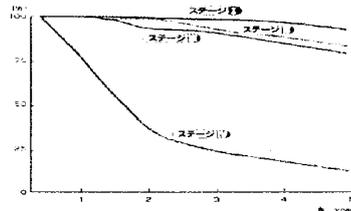
大腸がんの死亡者数は、この20年で2倍以上に増え続け、2020年までの予測で男女を合わせた日本人のがん罹患数の一位になっています。

厚生労働省「人口動態調査・平成17年」より
厚生労働省「人口動態統計・平成16年」より算出
「がん統計白書2004」より算出



【早期発見・治療でほぼ完治】

大腸がんは早期発見・早期治療によりほぼ100%完治します。



【低い検診受診率】

検診対象者の約18%しか大腸がん検診(便潜血検査)を受けていません。

大腸がん検診対象者 3547万人

受診者 640万人

約18%

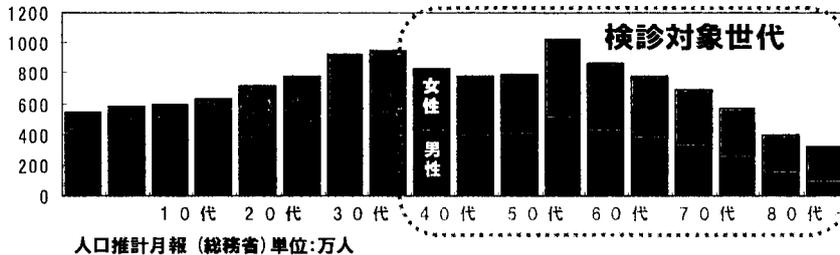
地域保健・老人保険事業報告資料2003実績(改変)

大腸がん検診啓発の開始



大腸がん検診対象世代である40歳以上の男性・女性を主なターゲットとして広く継続的に検診受診を呼びかけるブレイブサークルを2007年2月に開始。

【段階的な情報発信】



【ムーブメント化】

- 社会を巻き込むため
ムーブメント化
- 初動に勢いを与えるため
マスメディア広告を展開
- 市民参加イベント等で
マスコミ報道を促す

浸透し易く、印象に残り易い

【シンボルマーク】
【音楽】活用

シンボルマークと音楽



【名称 & シンボルマーク】

大腸がんに向き合う勇気“BRAVE”をもち、輪・仲間“CIRCLE”を広げて、大腸がんで亡くなる人を減らしていこう、というメッセージが込められています。



【音楽: キャンペーンソング】

40歳以上の検診対象世代を“音楽の力”で惹きつけて、大腸がんの現状や大腸がん検診受診の大切さを呼びかけます。

「手と手 手と手」

作曲：加藤和彦氏
作詞：きたやまおさむ氏

【基本メッセージ】

大腸がんの現状や大腸がん検診受診の大切さを理解していただくため、4つのメッセージを発信しています。

- ・大腸がんが増えています
- ・早期発見・治療でほぼ完治します
- ・早期では自覚症状がほとんどありません
- ・定期的な検診の受診が大切です

活動連携拡大イメージ

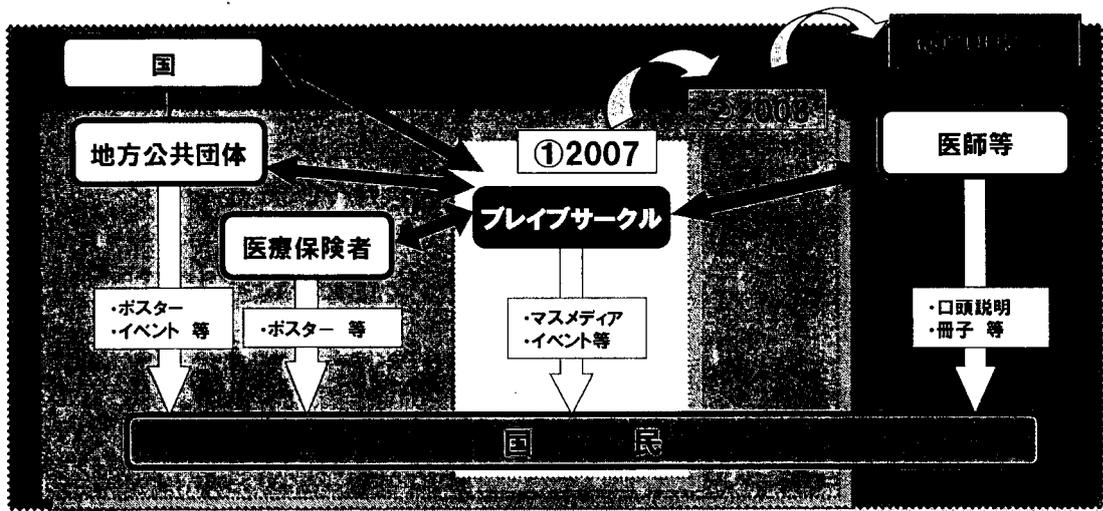


プレイブサークルは、がん対策推進基本計画の「がん検診受診率を50%以上」という目標を啓発面でサポートしたいと考え、大腸がん検診の啓発を行なっています。

①2007 : 民間企業参加の団体による啓発活動 【啓発団体 → 国民】

②2008 : ① + 行政連携の啓発活動 【啓発団体 & 行政 → 国民】

③2009～: ② + 地域・医療連携の啓発活動



各種啓発活動の展開



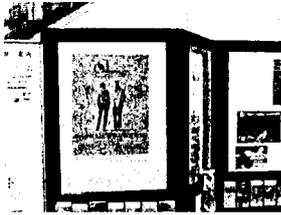
複数企業や団体、行政と連携しながら、大腸がん検診受診の大切さを呼びかける各種啓発活動を継続的に展開しています。

〔認知〕 大腸がんについて知っていただく



【行政後援 啓発ポスター掲示】

44都道府県から後援・協力を得て、公共施設等に大腸がん検診啓発ポスターを配布・掲示しました。



【原宿ファッションジョイボード文化展】

駅の大型ボード17面を全面利用した文化イベント「原宿ファッションジョイボード文化展」で大腸がん検診の啓発ボードを掲載しています。



出展期間：2008年9月24日～2009年8月下旬
 掲出場所：JR原宿駅(東京)
 主催：プレイブサークル運営委員会、(財)日本交通文化協会
 後援：東京都、(財)日本対がん協会、日本がん検診・診断学会
 特別協賛：オリンパスメディカルシステムズ(株)
 協賛：栄研化学(株)、プリストル・マイヤーズ(株)
 出演：加藤和彦氏、今井美紀氏、原元美紀氏

〔認知〕 大腸がんについて知っていただく



【BRAVE CIRCLE LIVE2008】

活動趣旨に賛同したアーティストが参加する音楽イベントを開催し、参加アーティスト一人ひとりが約3000名の来場者に向けて、大腸がん検診の受診を呼びかけました。翌朝の民放各局の情報番組で参加アーティストのメッセージが紹介されました。



日時場所：2008年1月28日(月) NHKホール(東京)
 主催：BRAVE CIRCLE LIVE 2008運営委員会、TOKYO FM、テレビ朝日
 後援：東京都、(財)日本対がん協会 ほか
 特別協賛：オリンパスメディカルシステムズ(株) 協賛：栄研化学(株)
 出演：加藤和彦氏、大貫妙子氏、F-BLOOD、横原敬之氏、元ちとせ氏
 orange pekoe、ゴンチチ、佐藤竹善氏

【BRAVE CIRCLE・ウォーク ～歩いて学ぶ。定期検診の大切さ！～】

1000名以上が参加するウォーキングのコース上チェックポイントで大腸がんに関するクイズが出題され、ゴール後は医師やアスリート達による大腸がんトークイベントが行なわれました。当日夕方や翌朝に民放の情報番組、新聞等で紹介されました。



日時場所：2008年5月24日(土) みなとみらいエリア(横浜)
 主催：BRAVE CIRCLE・ウォーク2008運営委員会
 後援：神奈川県、横浜市健康福祉局、(財)日本対がん協会 ほか
 特別協賛：オリンパスメディカルシステムズ(株)
 協賛：栄研化学(株)、プリストル・マイヤーズ(株)
 出演：勅使川原都恵氏、萩原次晴氏、千葉真子氏、ルー大柴氏
 今村清子先生(横浜市立市民病院)、関谷亜矢子氏(トーク司会進行)

〔理解・行動〕 検診受診に向けて背中を一押し



【大腸がん撲滅県民フォーラム & 出前大腸がん検診受付】

福井県とプレイブサークルが連携して公開フォーラムを開催し、500名の参加者に対して大腸がんの現状や検診の大切さを呼びかけました。
会場のエントランスで、(財)福井県健康管理協会が受診希望者に対して大腸がん検診の出前受付を行いました。



日時：2008年8月10日(日)
会場：福井県県民ホール
主催：福井県、(財)福井県健康管理協会
後援：(社)福井県医師会、BRAVE CIRCLE運営委員会
協賛：オリンパスメディカルシステムズ、栄研化学、プリストル・マイヤーズ
出演：山口明夫先生(福井大学医学部附属病院 院長)
松田一夫先生(県民健康センター所長)、黒沢年雄氏(俳優)

【公開シンポジウム】

大腸がん検診受診の大切さを解説する公開シンポジウムを開催し、延べ約6000名が参加しました。専門医による講演や、著名人と医師によるパネルディスカッションを通じて、大腸がん検診・検査・治療について解説しました。



日時：2007年2月～2008年3月
場所：2007年度 仙台、広島、名古屋、福岡、札幌、大阪
2008年度 東京、熊本、札幌、福島、神戸、岡山、青森、新潟会場
主催：読売新聞、朝日新聞、北海道新聞、河北新報、熊本日日新聞 ほか
後援：日本対がん協会ほか
特別協賛：オリンパスメディカルシステムズ 協賛：栄研化学 ほか
出演：各地の専門医、大腸がん経験の著名人等

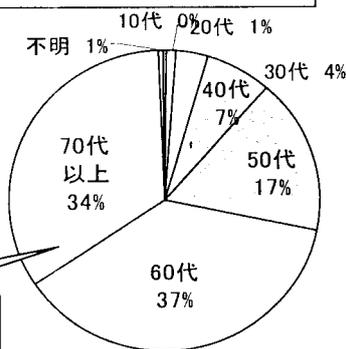
イベント参加者の意識



公開シンポジウム

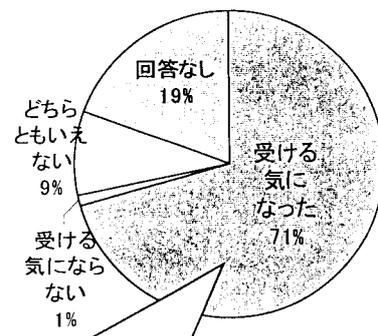
延約6000名参加

年代別来場者内訳



参加者の7割以上が60歳代以上の方々

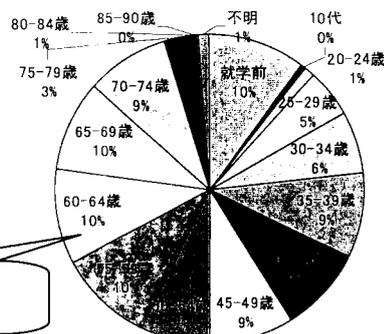
参加後の大腸がん検診受診意欲



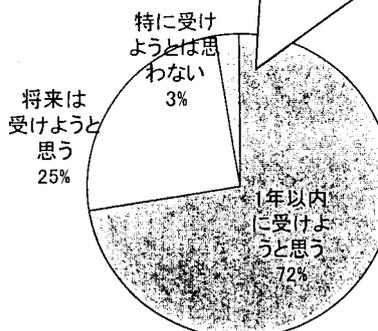
70%以上が受ける気になった

ウォーキング&トークショー

1037名参加



各年代の方々均等に参加



平成21年度啓発イベント

全都道府県から後援をいただいて啓発ポスターを掲示したいと考えております。

都道府県と連携して、ショッピングモール等の人が集まる場で「日頃、大腸がん検診への関心が低い人々」の参加を促す啓発イベントの開催を予定しています。

